



## 日本骨髄バンクの現状（2018年9月末現在）

	8月	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,326	2,852	490,020	748,534
患者登録者数	237	201	3,987	54,755
移植例数	126	84	—	22,399

### ■9月年代別ドナー登録者数(現在数)

10代 4,433人

20代 72,980人

30代 136,657人

40代 210,516人

50代 65,434人

### ■9月の20歳未満の登録者 224人

■9月の区分別ドナー登録者数： 献血ルーム／1,040人、献血併行型集団登録会／1,737人、集団登録会／17人、その他／58人

■9月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：559件

■骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数)：1,642件

■DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数)：841件

■国際協力の現状(2018年4月～2018年9月)

<海外ドナー⇒国内患者> 移植数：1件(台湾バンク)、累計移植数：189件

<国内ドナー⇒海外患者> 提供数：2件(KMDP)、累計提供数：271件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

## 1 2018年度上期の移植数、ドナー登録者数の実績について

2018年度上半期の移植数は611件で、前年同期間(655件)より44件減少しました。

内訳は〔国内ドナー⇒国内患者〕が608件で45件減少、海外バンクを介した〔海外ドナー⇒国内患者〕が1件で1件増加、〔国内ドナー⇒海外患者〕が2件で前年と同数でした。

また、末梢血幹細胞移植は96件で前年同期間(93件)より3件増加し、累計で559件となりました。患者さんの登録数は前年同期間1,427人より40人少ない1,387人(国内1,087人、海外300人)でした。

一方、ドナー登録者数は、9月末現在490,020人となりました。今年度上期の新規ドナー登録者数は17,494人で、前年同期間の17,156人より338人増加しています。地域別では28都道府県で前年を上回りました。

## 2 「骨髄バンク全国大会 2018 in 滋賀」開催報告

「骨髄バンク全国大会 2018 in 滋賀」を9月15日(土)世界骨髄バンクドナーデーに併せて、大津市和邇文化センターで開催、約230人にご来場いただきました。

第1部式典に続き、第2部では滋賀医科大学医学部附属病院 血液内科・木藤克之先生による医療講演「造血幹細胞移植 生きたいと願う人がいる。助けたいと思う人がいる」。そして滋賀骨髄献血の和を広げる会より滋賀県のドナー登録の現状が発表されました。続く移植経験者・石井希(いしいのぞみ)さん(骨髄バンクユースアンバサダー)の体験談は大きな感動を呼び、地元マスコミ紙でも数多く報道されました。

第3部の文化講演では、「演劇を通して命を見つめる」をテーマに演劇人2人の対談が行われました。出演は、今年人気を博した演劇「首のないカマキリ」の脚本家・横山拓也さん(演劇ユニット iaku 主宰)と劇団俳優座の演出家・眞鍋卓嗣(まなべたかし)さんです。この演劇は骨髄バンクドナー登録を重要なモチーフにした家族の群像劇で、実際に演じた劇団俳優座のキャストがクライマックスシーンを舞台上で再演。会場は現実に肉薄する演劇の世界に引き込まれました。アトラクションでは、地元和邇出身の若きピアニスト・酒井美生穂(さかいみきほ)さんのすばらしいピアノ演奏が披露され、フィナーレを某宇宙映画の悪役キャラクターコスチューム部隊・第501軍団が盛り上げました。

総司会はBBC ニュース(びわ湖放送)キャスターの藤川恭子さんが務めました。

開催にあたり、関係者の方々に多大なご協力を頂きましたことにお礼申し上げます。



## 3 北海道地区のドナー検索と確認検査を再開

平成30年北海道胆振東部地震の影響を考慮し、北海道地区ではドナー検索（新規コーディネーター）および確認検査を見合わせていましたが、電力事情等が改善し、医療施設もおおむね受け入れが可能であることから、9月19日に「北海道胆振地方東部地震に関するコーディネーターの対処方針について（第3報）」（当法人ホームページに掲載）を発出し、ドナーの状況によって個別に対応することを前提にドナー検索と確認検査を再開しました。通常のコーディネーターに戻りましたが、今後も状況変化があればホームページに掲載してまいります。

## 4 10月は骨髄バンク推進月間

10月は骨髄バンク推進月間です。全国各地で骨髄バンクのPRイベントや講演会、ドナー登録会が開催されています。中川翔子さんのACジャパン骨髄バンク支援キャンペーンポスターが数多くの自治体で利用されており、各自治体の広報誌でもポスター画像入りで骨髄バンクPR記事を掲載する例が広がっています。キャンペーンCM映像（DVD）の貸出も行っています。講演会やイベント会場等ぜひご活用ください。

## 5 ドナー助成制度、新たに8つの自治体で導入

新たに8市町で「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が導入されました。全国で422市区町村になります。京都府は伊根町が加わったことで、府内の全市町村で制度導入となりました。助成内容は各自治体によって異なりますので、直接お問い合わせください。当法人ホームページにお問い合わせ一覧を掲載しています。

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ  
> 提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体

### ■新たに導入した自治体

- 佐井村（青森県）      ○仙台市（宮城県）      ○鴨川市、九十九里町（以上千葉県）
- 多摩市、東村山市（以上東京都）      ○甲賀市（滋賀県）      ○伊根町（京都府）

## 6 平成30年度説明員研修会の実施について

平成30年度説明員研修会を来年の1月から3月にかけて、以下のとおり全国7ヶ所で開催します。開催場所や研修内容等の詳細は、地区普及広報委員・説明員の皆さまへ後日案内状を送付します。

- 関東甲信越地区（東京会場）      1月12日（土）      ハロー貸会議室秋葉原駅前
- 近畿地区（大阪会場）              1月19日（土）      大阪府赤十字血液センター
- 九州地区（福岡会場）              1月26日（土）      アスクビル
- 中部地区（名古屋会場）            2月9日（土）      オルバースビルディング名古屋
- 東北地区（仙台会場）              2月23日（土）      仙都会館
- 北海道地区（札幌会場）            3月2日（土）      道民活動センター
- 中四国地区（岡山会場）            3月16日（土）      ピュアリティまきび

## 7 「BANK! BANK!」 vol.12 発行のお知らせ

骨髄バンク・さい帯血バンクを身近にするための造血幹細胞事業広報誌「BANK! BANK!（バンク バンク）」の最新号が10月に日本赤十字社より発行されました。今回は「骨髄バンク ナンバーズ」と題して、数字で見る骨髄バンクをわかりやすく紹介しています。ぜひご覧ください。

## 8 当法人の会議等開催予定

傍聴ご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	10月15日（月）18時～20時 廣瀬第2ビル地下会議室
ドナー安全委員会	非公開	11月11日（日）12時半～16時半 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	11月12日（月）18時～20時 廣瀬第2ビル地下会議室

### コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

## 9 ドナー適格性判定基準の変更

「ドナー適格性判定基準」の以下の項目を変更しました。詳細は別紙をご参照ください。

- 【感染症、性病、寄生虫疾患】シャーガス病
- 【婦人科疾患】子宮異形成上皮 避妊薬（ミレーナ使用中は可）
- 【精神科疾患】精神疾患 精神障害

## 10 骨髄採取マニュアルの変更

採取担当医師の見地から「骨髄採取マニュアル」の以下の項目を一部変更しました。詳細は別紙をご確認ください。

- 【(10)採取手技】

## 11 インフルエンザ接種費用と補助 <コーディネーターの方へ>

インフルエンザワクチン接種を希望するコーディネーターに対して、今年度も接種に係る費用を全額補助します。医療機関にてワクチン接種を行った場合は、領収書を添付のうえ、当法人に請求してください。ただし交通費は自己負担とします。接種期間は平成31年3月31日までとしますが、インフルエンザワクチン接種は10月中（遅くとも11月中）に行うことが望ましいとの見解が産業医より示されています。ドナーの方については、12月から3月に採取の日程が決定（もしくは内定）しているドナーの方が自主的に接種を受ける場合、その接種費用の半額を補助します。

ドナーの方から申し出があったときは地区事務局へご連絡ください。

## 12 コーディネーター養成研修会を開始

本年6月から一部地域でコーディネーター養成研修会の受講者を募集しました。10月から来年3月まで各地区で研修カリキュラムを実施します。研修生の見学・実地研修の際には、調整医師・採取施設の先生方およびコーディネーターの皆さまにご指導いただくこととなりますので、よろしくお願い致します。